

# 政策分析シート

政策名	芸術・文化の振興と交流	政策No	05	部名	区民生活部		
関連部名							
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化					
目的	区民が優れた芸術・文化にふれる機会を拡充するとともに、区民の自主的な文化活動を促進する。また、国内・海外都市との幅広い交流を推進し、荒川区への愛着や多文化共生意識を醸成し、活力に満ちた区民生活の実現をめざす。						
指標	政策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値(28年度)	
	①	芸術・文化活動の状況(自身の発表・活動)	—	—	—	10%	この1年間で自ら芸術文化活動・発表をした区民の割合
	②	芸術・文化に対する意識	—	—	—	80%	荒川区の芸術・文化振興に関する取り組みや文化施設に対する満足度
	③	交流都市に対する区民の認知度	—	—	—	50%	区政世論調査又は川の手荒川まつり等のイベントにおいて、定期的に調査する
④	交流事業の認知度と評価	—	—	—	50%	同上	
現状と課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>区民が優れた芸術・文化にふれるよう、区内文化施設で文化芸術事業を実施するとともに、活動の場や機会の提供、活動費補助等を行い、区民の自主的活動を支援している。</li> <li>区民会館等の文化3施設では、ACCに代わる指定管理者のもとで、新たな事業展開、区民サービスや稼働率の向上等が期待される一方で、ACCには、荒川区における芸術文化振興の担い手として、そのあり方を検討する必要がある。</li> <li>国内16都市、海外4都市と交流があり、埼玉県秩父市と姉妹都市提携、千葉県鴨川市、同大多喜町、ウィーン市ドナウシュタット区と友好都市提携を結んでいる。また、平成17年11月に策定した「都市間交流に関する取り組み方針」に基づき、韓国済州市、中国大連市中山区と友好都市提携を結び、文化・芸術、産業・観光、スポーツ、青少年など幅広い分野にわたって、相互に連携を進めていく。</li> <li>他の都市とも、イベントへの相互参加や災害時相互支援協定の締結など多様な交流を行っているほか、常磐線沿線都市がアートを通じて相互に活性化を図ろうとするJOBANアートライン、つくばエクスプレスを縁に産業、観光面での交流をめざすつくば市、ここ数年、教育面での交流を重ねている北京市の紹介による通州区などとは、個別分野での交流を行っていく。</li> </ol>						
今後の方向性	<ol style="list-style-type: none"> <li>庁内PTにおいて、引き続きACCのあり方について検討するとともに、区民の芸術・文化活動への参加状況やニーズ、伝統工芸や文化遺産などの区内の文化資源の実体等を把握し、区における芸術・文化振興に関する取り組み方針案の検討に着手する。(18年度)</li> <li>区の取り組み方針案をたたき台として、外部委員による(仮称)荒川区・芸術・文化振興プラン策定のための懇談会を設置し、平成19年度中を目途に基本プランを策定する。</li> <li>交流のある16都市とは、それぞれの都市ごとに交流の展望や目標を明確にしつつ、継続的かつ具体的な交流事業を行っていくとともに、個別分野で交流のある都市とも、交流の深まりや相手都市の意向等を十分にふまえ、幅広い交流につなげていく。</li> <li>都市間交流を積極的に展開するための庁内組織及び推進体制の拡充を図るとともに、区民の国際性と多文化共生意識を育むため、荒川区国際交流協会に対する支援を強化する。</li> </ol>						

政策を構成する施策の優先度		
施策名	政策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
芸術・文化の振興	B	「グロス・あらかわ・ハッピーネス」向上のため、芸術・文化振興の優先度は、高い。
国内・海外都市との交流の推進	A	荒川区の魅力と活力を高める都市間交流を積極的に展開する意義は大きい。また、相互に友好と信頼関係を深めるためにも、優先度は極めて高い。